

創刊によせて

『研究 東洋』は、本学儒学文化研究所『儒学文化』と東洋思想研究所『東洋思想』の研究成果を、新たな形で世に問うものとして創刊された。『儒学文化』は平成十二（二〇〇〇）年三月、儒学の学問的研究だけではなく、儒学を政治・経済・法律・文化・社会などを含んだ幅広い問題意識の中でとらえ、アプローチしていくことを目的に発刊され、爾来十一年の歩みを刻んできた。その『儒学文化』発刊から十年を経た昨年には『東洋思想』が刊行されている。これは本学建学の精神である儒学を中心に、東洋思想をより幅広く考究する同好の士による研究会発足を嚆矢とする本学東洋思想研究所が発刊母体となった。そして、このたび両誌を統合し、学内だけにとどまらず、斯界の研究者ならびに東洋の叡智を深めたい学徒の賛同を得て再出発するものである。

儒学を始めとする東洋思想は、その歴史も永く広大深遠である。そして、アジア圏には数多くの国々、様々な人種・宗教・社会規範、固有の歴史が存在する。それらを一朝一夕に学ぶことも即席に理解することもできない。また、日本は東洋のはじっこ＝極東の島国であり、独自の歴史・文化・思想を育んできた。われわれ日本人はもう一度、自分の周りを振り返ってみることが求められている。まずは、日本の歴史を知り、日本人の心を理解することがグローバル世界で生き抜くために必要である。自分が住んでいる国の歴史・文化を大事にしないで、どうして新しいものを見つけることができよう。世界のために役立つ日本人になり得るか日本を理解することから始まる。そして、様々な主義・主張や宗教を乗り越え、他国の文化を尊重し、世界のため、社会のため、他人のために己を尽くせる心を育むことが教育の役割である。この『研究 東洋』の一燈が万燈となって国をあまねく照らすことを期待するとともに、ここに集う同好の士の活動が広く社会のために結実することを祈念し創刊の辞とする。

平成二十三年二月吉日

学校法人昌平齋 理事長
東洋思想研究所 所長

田 久 昌次郎